

生物研究

第XVI卷 第3-4号

1972

THE LIFE STUDY

Vol. XVI, Nos. 3-4

November 15, 1972

FUKUI, JAPAN

参 考 文 献

- K. Tsuneki: 1961 Studies on *Cerceris* of North Eastern Asia (Hymenoptera, Sphecidae).
 福井大学学芸学部紀要, 第II部, 自然科学, 第11号, 第3・4号。
 常木勝次: 1961 蜂類研究手引 (14)。ツチスガリ属。生物研究, 第V巻, 第3・4号。
 ———: 1964 蜂類研究手引 (20)。ジガバチモドキ亜科 (1), ピソソバチ。生物研究, 第VIII巻, 第3号。
 羽田義任: 1971 福井県内蜂類分布資料。生物研究, 第XV巻, 第1・2号。
 R. Ishikawa: 1965 A Preliminary Revision of the Japanese Species of the genus *Dipogon* Fox (I). *Mushi*, Vol. 38, Pars 11。
 山田晴昭: 1971 愛知県のアナバチ科およびセイボウ科。生物研究, 第15巻, 第1・2号。

アリバチモドキ雌の採集記録

アリバチモドキ *Myrmosa melanocephala nigrofasciata* Yasumatsu は低地から中山帯にかけて生息し、とくに 500~1000 m くらいの山路では、その数は極めて普通で、多数が群れているのをよく見かける。ところが早となると無翅のせいもあって、なかなか採集困難である。40年以上に亘るわたしの採集記録の中でも次の11頭だけで、しかもこの中の5頭は、アリバチに注意するようになった40年からの獲物である。

白山 (六万山), 22. VIII. 1954。 福井市 (三八社, 泰澄寺), 25. IX. 1955。 小池, 31. V. 1956 (交尾中)。 市の瀬, 14. VIII. 1956。 白山 (中腹), 15. VIII. 1957。 尾瀬 (大清水), 11. VIII. 1961。 嵐, 4. IX. 1970。 青葉山, 5. VIII. 1971。 下打波 (谷山), 18. VIII. 1971。 小池, 21. IX. 1972。 谷山, 7. X. 1972。

以上の中で市の瀬は石川県の上野山登山口, 小池, 嵐, 谷山は福井県の打波川 (九頭龍川の支流) 流域の山地、青葉山は別名を若狭富士という福井・京都県境の山である。 (常木)

オカマルセイボウはナミツチスガリの巣に寄生か

ハラアカマルセイボウがナミツチスガリ (*C. hortivaga*) の巣に寄生すること (侵入することはよく見られるが、巣からの羽化記録はない) は早くから知られているが、オカマルも、このツチスガリに寄生するらしい。侵入までは観察できなかったが、この種の集落内をうろついたり、あるいはその草葉上でハラアカと同様な挙動をしているのを、今年 (72) 次の三か所で採集した。

(1) 嵐山地, 久保分家出作り小屋への山路, 9月5日。ツチスガリの巣10個ほど散在する場所, 路傍の小灌木の葉へハラアカが飛来するのを2頭採集した後へ、オカマルが連続3頭飛来し、次いで路上を歩く。終バスに乗るために時間がなく、つぎつぎに採集。このむしろまれな青蜂が3頭も集まるなど、寄生以外のことは考えられない。

(2) 小池, 下小池から旧神社跡へ登る山路, 頂に近いツチスガリの集落内を歩いてきた1頭を採集。9月21日。

(3) 下打波谷山, 1軒屋からの登り路, 第7の家に近い路上, やはり付近にツチスガリの巣がある。この種はハラアカのように胸部が光らぬので、羽をたたんで歩いていると青蜂のように見えない。*Tiphia* かと思って採集し、初めてこの種であることがわかった。すでにツチスガリの影も少なくなった10月7日。 (常木)